

日 時 平成 20 年 10 月 24 日（金）午後 6 時から 7 時 50 分

会 場 宮前区保健所会議室

参加者 高木部会長、河井委員、川島委員、鈴木（和）委員、恒川委員、千葉委員、松井委員、  
渡辺委員、（以上、部会委員）  
永野委員長、（オブザーバー）  
田邊企画課長、中山同主査、成沢職員（以上、事務局）  
岩下研究員（コンサルタント）

## 開会

### 事務連絡（田邊企画課長）

- ・会議公開について説明し、委員が了承した。
- ・資料確認を行なった。

### 1. 議事（進行：高木部会長）

#### （1）今後の審議の進め方について

資料に基づき、これまでの議論内容の確認を行い、意見交換した。主なコメントは以下のとおり。

#### 資源の整理・大分類について

**高木部会長** 「楽しむ方法」という視点の項目を作った点は面白いと思います。

**事務局** 前回の千葉委員の発言、「観る価値・買う価値・住む価値」を踏まえています。

**高木部会長** ご提案のように、資源を大分類で分けると大体 5 つぐらいに分けるのが良いかなと思います。あとは「地域」「地区」などをどのように分けるかがポイントになりそうです。また、「季節」というのも入れても良いと思います。1 年中楽しめる資源もありますが、例えばお祭りならば年一度でしようし、花であれば見ごろの時期があります。

**恒川委員** 目黒で育った頃、大鳥神社や目黒不動尊の祭事がいつか、いつ行けばお神楽がやっているのかといった情報があったと思います。宮前区の囃子や獅子舞などもそうした祭事とつながっているのでしょうから、そうした情報もわかるようにして、訴えていきたいと思います。

**高木部会長** 正にそこを「季節」という項目で表現できればと考えています。例えば、そうした祭事や区民祭、太鼓ミーティングなどは毎年開催時期が決まっています。

**恒川委員** 歴史的な坂のいくつかに名前をつけて、看板を整備したということですが、歩いていて目に付くことがあまりありません。植木の里にしても、何かつながりが無いように感じます。宮前区の歴史を踏まえた案内がもっとあって良いと思います。道祖神なども、ポンと置いてあるだけで目印がありません。

**事務局** 坂については「まち・施設」の分類下に掲載されています。商店については、どこを掲載するかという点が難しく、まだ議論もなされていないため、現時点では空欄になっています。

**恒川委員** 高木委員が提出された分類の案もとても良いと思います。

**高木部会長** 「川崎区の宝物」の事例を参考に作成し、それに「季節」を加えました。自分が住んでいる地区だからこそわかる資源も載せました。例えば本遠寺の越路吹雪さんは、区のガイドブックなど

にも載っていない部分であり、部会名称である“再発見”につながる部分だと思います。やはりそれぞれの地域で深めていかないと見えてこないものがあると思います。

**コンサルタント** 一覧を見る方が、資源をどの視点から検索するかという関わってくると思います。事務局案では、テーマによる分類が頭になっています。これは例えば、「宮前区で何かおいしいものを食べたい」という目的を持った人が、「食べ物」というテーマから検索することができます。しかし「私の地域には何があるのだろう」という目的で資源を探す人には、「地域」が頭に出された高木部会長の分類の方が目的を早く果たせるでしょう。

また、「テーマ」で資源を分類して感じてしたのは、どちらの「テーマ」に入るのか迷う資源があるということです。例えば先ほどの「名前のついた坂道」は「まち・施設」に分類したのですが、「大山街道」や「鎌倉道」といった資源は「まち・施設」にするのか、「歴史文化」にするのか、それとも両方に入れるのか迷うところです。ただし、「地域」でまず分けた場合はどこに入るのか、迷うということはありません。この部会では、これまで地域レベルで資源を“再発見”していきうという意見が出てきていますので、まず地域で分けるという考え方が良いのかもしれない。

**高木部会長** 地域でわけるといふことであれば、まず大きくは向丘地区と宮前地区という分類があります。更にその下に例えば初山や雑色、神木などの分類が考えられます。

**事務局** 検索の面から考えますと、頭となれる分類がよりたくさんある方が良いのかもしれない。

**高木部会長** 検索のしかたがいくつかあり、選べるのが理想だと思います。自由度のある設定ができると思います。

**恒川委員** 小学校区単位でテーマを与え、資源を探し、話し合うようなしくみが出発点になると思います。それが参加につながる。そこで出てきたものをどのように分類するかということは、次の段階であり、地域の皆さんと話合いながら進めていくという手順になるのではないのでしょうか。

**高木部会長** 事務局提案はスタンダードな分け方で、非常にわかりやすいと思います。

**鈴木委員** 高木部会長が出されたような地域の資源のまとめが、各地域でなされてきた上で、全体の分類ができると良いと思います。

**恒川委員** 子どもたちの参加でぜひやっていきたいです。昔ここに湧き水があったとか、沢蟹がいたとか、地域で大人や高齢者から教えてもらうだけでも良いと思います。

**鈴木委員** 地域の高齢者には地域の昔からの資源を知っている方がいます。私たちがなかなかわからない資源、知らない資源が出てくると思います。

**高木部会長** 小学校区で分けると、一つの小学校区にかなりの地区が入ってくると思います。例えば、菅生小学校区には自治会が5つ、6つあります。

**事務局** 小学校区という分類も設け、解決策につなげて考えていってはどうでしょうか。投げかけた結果が実際動くようにつなげていくことが重要です。

**コンサルタント** これまでの部会の議論で様々な資源が出されましたが、なかなかまとまってこなかった面があります。小学校区や地域のレベルから資源を掘り起こして行く作業をしたいのだけれども、ただいきなり投げかけてもわかりにくいだろうし、探すことによるおいしさも見つけにくい。ある程度、「こういった資源を探してみてください」「たとえばこういうものが地域の資源なんですよ」という分類などの提示が必要だろうというご意見もありました。

**永野委員長** 今の話は資料で言いますと、「資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく作業」ということになるとは思います。この作業は区民会議が行うわけではなく、そのためのプログラムを区民会議で検討するということだと思います。

その投げかけのための分類がどうかということですが、五感に訴えた「楽しむ方法」という分類の視点は面白いと思いますが、現在のリストを見ますと「見る」ものばかりで、「買う」「食す」という資源が少ないのが少し気になります。

**事務局** 元となったのが、観光協会の資料で、まだ抜けている資源が多くあると思います。

**高木部会長** これを食べたい、これを習いたいなどの部分がまだまだ抜けていると思います。分類が難しいものは両方に入れておいても良いと思います。例えばお祭は「活動・イベント」「歴史文化」の両方に入っていて良いと思います。様々な資源を分類しておくベースを共通でつくっておけば、どの項目を頭だしするかということは後からでもできるでしょう。

**永野委員長** 「産業」でみますと、食べ物はいっぱい出ていますが、農業は「盛んな都市農業」とされているだけで、工業はまだ一つも挙げられていません。こうしたところも見つけて、加えて行く必要があります。

**高木部会長** 「食べ物」の中には農産物もたくさん入っています。

工業で言いますと、菅生地区に鉛筆削りの歯車などを作っているカニエ工業という（菅生に支店と工場。 [http://www.kanie.com/index\\_j.htm](http://www.kanie.com/index_j.htm)）会社がありますが、近隣の小学校の総合学習などでよく見学などに来ています。一般にはあまり知られていませんが、その分野では日本一の優れた会社です。

**永野委員長** 区民祭で展示をしたイベントの秋山メカステージ株式会社（特殊部隊装置）などの会社もあります。そうした資源がまだこのリストには出てきていません。

**コンサルタント** 今回の資料に掲載されている資源は、以前の部会でも配布させていただいた観光協会の資料と、これまでの部会で委員の皆さんの発言に出てきた資源のみです。資源を加えて行く作業は必要ですが、それをどこでやっていくかということでしょうか。

**松井委員** みんなが知っている資源だけでなく、地域で掘り下げることによって出てくる資源があると思います。そのしかけを地域でうまくつくれば、地域でたくさんの人達が参加しながら、自分達の地域を意識していくことができると思います。叩き台としての例、「こういうやり方でどうですか」というものがいくつか出ていれば良いと思います。緑や花については、みやまえグリーンフォーラム 21 の活動でフォーマットをつくってみんなが参加できるような仕組みをつくろうとしています。

**永野委員長** 分類の例としては、今回の資料のような形で良いのではないのでしょうか。

**高木部会長** あまりたくさん分類があっても混乱しそうです。川崎区の事例を見ていると「賑わい」と「イベント」の区別など非常にわかりにくいように感じます。

**永野委員長** 駅前の商店街などは「くらし・産業」「まち・施設」などに入ってくると思います。

**高木部会長** 事務局提案の5つの大分類でどうでしょうか。私はこの5分類で問題ないと思うのですが、ただ、「活動」というのは他の表現がないのかなと思います。

**川島委員** 「交流」という言葉ではどうでしょうか。

**コンサルタント** この資料を作成した時に、この「活動」の中に入ってくる項目として意識したのは、例えば区民祭や太鼓ミーティングというイベントであり、みやまえグリーンフォーラム 21 やまちづくり協議会などの具体的な組織、活動団体名などでした。

**高木部会長** 「コミュニティ」という表現を頭にいれても良いかもしれませんが、「活動」というと少し固いイメージがあります。「ふれあい」とか「交流」とか、そういうニュアンスをこめたい。

**永野委員長** 「ふれあい」や「交流」という言葉があまり前に出すぎてしまっても、何か強制されているように感じてしまわないでしょうか。自発的な雰囲気を出したいと思います。

**渡辺委員** 「つながり」というのはどうでしょう。

**コンサルタント** 例えば地域のお祭を知りたいと思った時に、その大分類の下にあるだろうと推測できるかどうか重要です。

**事務局** 「参加」という言葉はどうでしょうか。

**高木部会長** 「ふれあい(交流)」でしょうか。

**事務局** 「ふれあい・交流」という記述のし方もあるでしょう。

**高木部会長** とりあえず「ふれあい・交流」とさせていただき、作業を進めていく上で不都合等あれば変えていきたいと思います。

**永野委員長** 子育て支援や健康づくりといった活動も含めていけると思います。

### 楽しみ方の分類について

**高木部会長** 私も5感で感じる、楽しみ方の分類はおもしろいと感じました。他の事例にはない特色が出せそうです。

**コンサルタント** 「買う」と「食す」は一緒でも良いのかなと感じています。「体験する」という表現も少しまよったところでした。「やってみたい」「参加してみたい」「行ってみたい」などを含んでいるイメージです。

**高木部会長** 「住みたい」というのには少し違和感があるように感じます。

**コンサルタント** 最終的に「住みたい」につながれば良いということで、あえてここに入れなくても良いのかもしれませんが。また、この分類(楽しむ方法)については、複数チェックできるような形の整理でも良いと思います。

**永野委員長** 例えば緑地は「見る」「住む」になっていますが、「観る」「体験」で良いと思います。

**高木部会長** 「住む」はその資源に住みたいということではありませんし、あまりある地区に「住む」が偏っても誤解を招く恐れがあると思います。

**永野委員長** あくまで五感に絞って考えてはどうでしょうか。

**コンサルタント** そうなると「買う」は除外されますね。「見る」「聞く」「体験する」はそのまま残るでしょうか。

**コンサルタント** この楽しみ方の分類はもう少し検討が必要です。「体験する」という表現は「見る」「聞く」といったことも含みます。例えば初山の獅子舞は「見る」「聞く」以外に「体験する」ということはあるのでしょうか。

**高木部会長** 初山の獅子舞の場合は地域外の人に体験させるということはありません。

**事務局** 太鼓ミーティングであれば「参加する」という楽しみ方もあります。

**松井委員** お祭の囃子などを保存していくのに困っている地域もあります。長老にそれを保存したい気持ちがあり、習いたい人が習えるような場をつくっても、サラリーマンが多くてなかなか練習の時間がとれない現状もあります。こうした問題も今回の試みを通じてうまく資源として紹介していければ、地域の認識が変わり、解決に繋がっていくかもしれません。上手に場をつくっていければ残せる資源があります。

**鈴木委員** 地域の資源に小さい頃から触れてもらうことが重要だと思います

**高木部会長** 現状では「買いたい」と「食べたい」が分けてありますが、「食べたい」以外に「買いたい」ものって何かあるのでしょうか。

**恒川委員** 多いに宣伝したいのですが、あまり のお店の××という資源を、固有名詞で区民会議や行政の場から紹介していくのは、立場的に難しい現状があります。

**鈴木委員** 観光協会としてなら、良いのですが、

**高木部会長** 地域で掘り起こしている中で、地域から出てくるのであれば良いと思います。

**コンサルタント** 確かに「買いたい」資源については、行政や区民会議側から何か掲載すると、どうしてもここは載せて、あそこは載せないのかなど、難しい問題があります。

地域で資源の掘り起こしをした時に、例えば誰かから、「あそこの雑貨には可愛い小物が売っている」といったような意見ができれば、食べ物ではありませんが、この「買いたい」に分類されると思います。「買いたい」と「食べたい」は一緒にしても良いかもしれません。

**高木部会長** 「買いたい」「食べたい」は一緒にしても良いと思います。

**松井委員** 「買いたい」「食べたい」は非常に重要な魅力です。観光の面から考えてもやはりおみやげが重要です。

**鈴木委員** 「買いたい」資源を紹介する時はどこで買えるのかも紹介することが重要です。

**コンサルタント** 全て「…したい」という表現にし、「見たい」「聞きたい」「知りたい」を一項目に、「買いたい」「食べたい」を一項目にし、「やってみたい」「参加したい」「体験したい」を一項目に、「住みたい」は削るということでどうでしょうか？

**千葉委員** 楽しみ方という視点から分類するのであれば、やはり「住みたい」は少しそぐわないと思います。前回の部会で私が発言した時の「住みたい」はそこに住んでいないと参加できない活動などのイメージでした。

**渡辺委員** 「見る」はこの漢字で良いのでしょうか。寺社仏閣などを「観る」場合には「観」の漢字の方が使われると思います。

**事務局** 雑誌などで観光資源として紹介される場合には「見る」という表現が使われることが多いです。どちらもあるとは思いますが、

**川島委員** この場合は「見る」を使った方が範囲が広いと思います。

**コンサルタント** あえてひらがなにしておいて、どちらでもとれるようにしておくという考え方もあります。聞くにも、実は「聴く」もあります。

**事務局** 太鼓ミーティングなどは「聴く」のイメージもありますね。

**恒川委員** 全部ひらがなにしておいた方が良いのではないのでしょうか。また、「やってみたい」「参加したい」ですが、子ども達に伝えていく時のことを考えますと、「やってみたい」の方が表現がやわらかく、伝わりやすいと思います。

**渡辺委員** お囃子など、「みたい」「ききたい」はセットになっていることが多いと思います。

**高木部会長** お祭などは「買いたい」「食べたい」も入ってきますね。ただ見に行っている人は少ないです。屋台がないと、お客さんもかなり減ると思います。

**松井委員** 特にこどもはそうですね。

「みたい・ききたい」「かいたい・たべたい」「やってみたい」の3分類にすることで同意。

## イメージ図について

**事務局** 資源の中に、宝物があり、その中に顔があるというイメージ図についてはどうでしょうか。中に行けばいくほど共有の度合いは高くなるというイメージを持っています。

**松井委員** 中にあるものほど、よそにも誇れる資源ということだと思います。

**鈴木委員** 良い図だと思います。

**高木部会長** 3次元で表すとピラミッドのように高くなっていくイメージでしょうか、それともより沈

んでいくイメージでしょうか。今回の資料の色使いからすると、どちらかという沈んで行くようなイメージが持たれるように思います。押し上げるですから、高くなっていくイメージが良いのかなと思いました。イメージづくりは結構大事です。

**事務局** イメージ図は改善を検討してみたいと思います。

### **意見聴取や区民への投げかけについて**

**高木部会長** 年度末のフォーラムに会場していただいた区民への投げかけも良いのかなと思います。

**事務局** 今期は2年間をかけて検討を進めるということで、取組を動かしながら進めて行くやりかたも考えられます。

**高木部会長** 中間報告的に捉えるのであれば、アンケートもおもしろいと思います。区民会議の中だけで話していると、どうしても狭い範囲になりますから、より広く呼びかけたい思いがあります。

**松井委員** フォーラムも市政だよりや回覧板以外にも、例えばPTAや地域教育会議などターゲットを定めて、「一緒にやっていきたい」という根回しや声をかけていった方がまとまりやすいと思います。ただ情報を流していると反応は弱くても、直接声をかけることによって協力体制が築けることもあると思います。人のつながりを上手に活用していかないとうまく進まないと思います。まずフォーラムなどに来てもらい共感してもらうことが大切です。

**川島委員** ただ待っているだけでは、なかなか意見は上がってこないと思います。

**鈴木委員** 区民会議のこともまだよく理解していない人が多いです。

**河井委員** 宮前平中学校の文化祭に地域振興課から連絡を受けて参加し、生徒を対象に宮前区の簡単なクイズを出させていただいたのですが、区の花と木を訪ねたら知らない子がほとんどでした。文化祭で地域コーナーを昨年からつくったそうなのですが、昨年は地域からの参加がなかったそうです。

区民会議のアピールも考えていく必要があると思います。昨年度の自治フォーラムでは、私たちも文化祭に行くから、来てということで生徒たちに特別に声をかけたところ、中学校にある緑のマップづくりなどで参加してくれました。互いの関係をつくっていくことが大切だと思います。

**高木部会長** 自ら積極的に出て行かないと、なかなか関係は築けません。

**鈴木委員** 文化協会でも各校長先生にお願いをして、イベントに出てもらってアピールをしています。

**松井委員** 学校のスタンスも地域と上手に関わりたいというふうにかわってきましたが、どう関わっていったらよいのか、まだわかっていない面があると思います。こちらからうまく投げかければ、広がって行く要素はあると思います。

**永野委員長** まちづくり協議会の「まちづくりひろば(以前の区民フォーラム)」が2月21日に開催される予定なのですが、その中で一緒にやっていかないかという呼びかけがありました。

**事務局** アンケートや意見聴取の話については、12月の区民会議だよりについてはとりあえず見送り、年度末のフォーラムなどで重点的に考えていくということでしょうか。

**永野委員** 今期は2年間で検討を進めるということで、フォーラムでの投げかけや、実際の地域での宝探しの試みを進めながらの検討も良いと思います。

**コンサルタント** 例えばモデル的な地域を設定して進めるということでしょうか。

**恒川委員** 町会や小学校区で試みを進めることが、区民会議のPRにもなると思います。サンプルをとるという発想ではなく、わっとやってみて、あがってきたものを交通整理して、押し上げて行くというイメージを持っています。

**高木部会長** 同じ投げかけをしても地域によつての温度差がかなりあると思います。その意味では、い

くつかの地域を取上げるという作業は必要になるかもしれません。

**松井委員** 主体となる実行部隊をどこにするのか。PTAや地域教育会議、社会福祉協議会、自治体などいくつかの主体が考えられますが、核になる主体がほしいところです。

**永野委員長** その投げかけを区民会議フォーラムでできると良いと思います。

**事務局** どこの区でも区民会議とまちづくり組織との関係は課題になっており、なかなかうまくいっていない、連携がとれていないのが正直なところだと思います。その意味ではフォーラムなどが合同であれば、画期的な試みになります。

**高木部会長** せっかく向うから呼びかけがあったのですから、うまく活用したいと思います。

**永野委員長** 先日私が受けた打診は、「まちづくりひろば」の中で「宮前の紹介」というコーナーをつくりたいので、その中で、宝物部会で何かやってくれないかという話でした。

**松井委員** みやまえグリーンフォーラム21は既に分科会の一つとして参加することが決まっています。

**永野委員長** まだ間に合うのであれば、もう少し大きな形で組み込むことができないかと思います。

**事務局** ポリユーム的には差があるとしても、対等な立場でできると良いと思います。

**永野委員** 昨年も市の市民自治創造フォーラムと区民フォーラムを一緒に開催しました。

**事務局** ここの部会だけではなく、企画部会や全体会での議論が必要な話ですね。

**松井委員** 一緒にやれるようになることが以前から私は理想だと思っていましたが、今年度に関しては今から時間と労力をかけてやっていくのは難しいと感じています。本気で区民会議をアピールしていくのであれば、改めて日時を設定し、ターゲットなども想定して、団体に声をかけ、こういうものをぜひ盛り上げていこうという形でやっていけると良いと思います。そのプレとしてまちづくり協議会のフォーラムの時に、宣伝できると良いと思います。

**永野委員** まちづくりひろばについては、参加をしてPRをしていきたいが、区民会議としてはやはりしっかりとした区民会議フォーラムの形が別に必要だということでしょうか。

**高木部会長** 年度末には一度ある程度の報告を出し、地域への投げかけ、地域での宝探しを具体的に進めることを目指したい。2年目の活動はその結果も検証しながら進めていけると良いと思います。来年の区民祭ではみんなで区の宝や顔を共有できるような形になるくらいのスパンで考えたいです。

## その他

**恒川委員** 少し話題が逸れてしまうかもしれませんが、私は影向寺に行こうとした時にどうやって行ったらいいのか、非常に悩みました。

**コンサルタント** 資源の案内サインの問題ということでしょうか。

**恒川委員** せっかくの資源が活かされていないという点がこのあたりにも要因があると思います。

**高木部会長** 宮前区の資源を見て回るモデルコースなどの提案もできると思います。

**事務局** 資料の「資源をどうやってPRしていくか」という検討に関わってくると思います。

## 2. その他

### (1) 今後の進め方について

- ・次回の部会会合は全体会終了後の12月中に開催することとした。開催日については、選挙等の動向を確認しつつ、後日調整することとした。

閉会